

5月の連休明けにニュースレターの第1号をお届けして、今回が第10号になりました。これは、全国専門学校日本語教育協会（全専日協）の再スタートにあたり、「情報の共有化」という活動目標を形にしたいと思い、始めたものです。各地の会員の方から「中央の情報が早く伝わってくるので安心できます。」といった声を寄せて頂いています。そうした声を励みに、今回も9月の新しい動きをご報告します。

## 速報

### ◆ 日本語議連の 馳 浩事務局長に「意見書」を提出

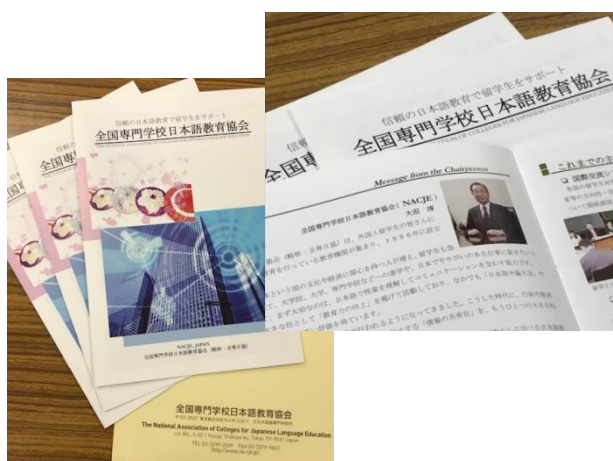


超党派の「日本語教育推進議員連盟」が国策として日本語教育を推進しようとしていることは、これまでもお伝えしてきました。私たちは、学校教育法人として公益性の高い教育を担っている立場から意見書を作成しました。議連の事務局に連絡したところ、国会対応で忙しい中、馳浩事務局長が私たちの協会のために時間を作って下さいました。深堀和子・武田哲一両副会長、古屋和雄事務局担当理事、西村事務局長の4名で9月21日午前11時に衆議院会館を訪ね、「意見書」を手渡しました。馳事務局長は意見書に目を通し「内容について理解しました」とうなずかれました。議連としては今後「日本語教育推進基本法案」（仮称）の骨子案をまとめ、関係機関の集まりで諮ることになるとの見通しを話されました。私たちから、国会が落ち着く11月頃に当協会の理事会などでお話し頂きたいと申し入れをしたところ、馳事務局長にはスケジュールの調整に快く応じて頂きました。全専日協は、これからも日本語教育の向上を図る立場から発言していきましょう。

【添付資料 1、議連への意見書】

## ◆ 新しいパンフレットで新加入

完成したばかりの新しいパンフレットを全国の会員の皆さんにお送りしました。これにあわせて全国の未加入校56校にもパンフレットとニュースレター第9号を郵送したところ、早速長野県松本市にある「丸の内ビジネス専門学校」から新規加入の申し込みがありました。有難いことです。また電話で連絡させて頂いた学校の中で数校が「検討します」とおこたえ下さいました。新規加入校については現在作成中の日本語と英語の併記版パンフレットに学校名を掲載することが出来ます。パンフレットやホームページをご覧いただき、趣旨に賛同して下さい方は是非参加して下さい。お待ちしております。



## ◆ 文化庁主催の日本語教育推進会議で発表

さかのぼって9月14日(木)14:00~16:00 霞が関の文部科学省特別会議室で、今年で8回目になる日本語教育推進会議が開かれました。この会議は、国の各府省庁から日本語教育施策についての報告と、日本語教育機関・団体から日頃の活動について発表することによって、共通認識を持って日本語教育の推進に協力し合おうというものです。

行政からは、文化庁・文部科学省・内閣府・総務省・法務省・外務省・厚生労働省の順に取り組みの現状について説明があり、一方日本語教育機関からは8つの団体の報告がありました。私たち全専日協からは、武田哲一副会長・岩本仁副会長・西村学事務局長が参加しました。代表して武田副会長が、新しいパンフレットをもとに「教育の質を高め、質を保證することが大切である。」と発表しました。また全専日協の連携会員でもある、学校法人長沼スクール東京日本語学校の長沼一彦理事長が、結成されたばかりの一般社団法人全日本学校法人日本語教育協議会 の代表理事として「お金のことも大事だがまずはしっかりと教育ありきで参りましょう。」と力強く発表されたのが、参加者の印象に深く残りました。お互い日本語教育のお手本として今後も力を合わせていけたらと思います。

## ◆ 2017年度、初の執行役員会を開く

9月17日は忙しい一日でした。文化庁主催の日本語教育推進会議の後、場所を代々木の文化学園に移し、今年度初の執行役員会を開きました。

出席者は、深堀和子・武田哲一・岩本仁の三副会長に佐藤嘉記監事、古屋和雄事務局担当理事、西村学事務局長の6名でした。話し合いの主な内容は次の通りです。



### 1) 4つの委員会の委員、固まる

全専日協の活動の柱として「総務委員会」「情報共有委員会」「教育研究委員会」「学生対策委員会」の4つの委員会があります。会員の皆さんにアンケートで参加の意向をたずね、その結果をもとに、委員長・副委員長・委員を構成しました。今後は各委員長・副委員長から呼びかけが届きますので活発な活動をお願いします。

【添付資料2、委員会構成】

### 3) 小さな勉強会を企画

6月の総会企画として実施した、漢字教育の実践報告会に会員の皆さんから好評を頂きました。



当初から、本協会の目的のひとつに、全国各地で小さな勉強会を開く事がありました。最近、非漢字圏からの学習者が増えている九州地区で実践報告会を開けないか話し合いを行ったところ、岩本副会長から「勉強会を行なえたら喜ぶ関係者は多いだろう」という発言があり、今後実現に向けて前向きに進めて行くこととしました。

### 4) 優秀学習者に会長賞の贈呈を検討

全専日協の会員校の学生に対する表彰事業を実施する方向で話し合いました。各校の卒業予定者の中から学業最優秀者1名、並びに特別表彰の推薦を受けた学生に会長表彰を行う制度です。会員の皆さんには改めて、規定と申請書を作成し、お送り致します。留学生の皆さんの励みになってくれれば幸いです。

## ◆ 事務局からの連絡

- 会費の入金について

会費の入金を済ませてくださった会員の皆様、ありがとうございました。  
既に請求書をお送りした学校のうち、まだ入金が進んでいない学校が数校ございます。請求書をご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

- 新規加入校の会費について

会則の第7条に「10月以降の入会の場合は、会費を半額とする」とあります。今回パンフレットをお送りして新たに会員になってくださった学校についても、会費を半額といたします。お近くで入会を検討している学校がありましたら、この点も合わせてお誘いください。

- 11月に第1回の理事会の開催を予定

11月には第1回の理事会の開催を予定しております。理事の皆様にお集まりいただき、各事業の経過報告などを行います。馳浩議員にご参加いただけるかなど詳細が決まり次第、お知らせいたします。

2017年9月22日

全国専門学校日本語教育協会  
ニュースレター担当